Miel
稲本英　五行歌集

◇五行歌について◇

五行歌とは、五行で詠む歌のことです。
万葉集以前の古代歌謡にならって、
現代の言葉で同じように
自由な調べで詠んだ歌。
それが五行歌です。

蜜みたいな
言葉を
いくつも
口に含んだから
舌が甘い

云えば
負けてしまうようで
でも伝えたくて
君の耳朶を
咬んでいる

光の届かぬ
水底が
二人の檻
緋色の影絵
爆せる

尊敬に
肉慾が
発芽した
紛れもなく
純愛だわ

夜桜を囲う
胸の裡
踏み潰した
劣情
あまた

恋情が
炙りだす
嫉妬という
美しい
焔のゆらめき

その裸足
搦めて
鳥籠に私を囲う
もう、飛び立てなくて
いいの

最上級の
誉め言葉だわ
居心地がよくて
躰が好きだ
なんて

夜の残骸を
飲みほしながら
既に
次の約束を
期待している

罅割れた蹠に
あなたの息が
沁みこんで
そこから孵化した
日々である

五行歌集『polyvalent』より恋歌を
一部抜粋、編集いたしました。
五行歌にふれるきっかけとなれば
嬉しく存じます。

【 五行歌集 Miel 】
発行者◇稲本英
発行所◇九州五行歌会
発行日◇令和元年8月3日
連絡先◇Instagram→a_y_a_8_3